

第4回観光立国推進有識者会議 議事概要

1. 日時

平成26年5月20日（火）11時00分～12時00分

2. 場所

中央合同庁舎3号館4階幹部会議室

3. 出席者

委員：

荻野アンナ 慶應義塾大学文学部教授

白石隆 政策研究大学院大学学長

森田健作 千葉県知事

船山龍二 (株) JTB相談役

森本昌憲 藤田観光(株)顧問

石井至 旅行ガイド出版社社長

岡田裕介 東映(株)代表取締役グループ会長

関係省庁出席者：

高木国土交通副大臣、坂井国土交通大臣政務官、久保観光庁長官、黒田内閣官房内閣審議官、藤本内閣府官房審議官（沖縄担当）、杵渕法務省大臣官房審議官、新原厚生労働省大臣官房審議官、中條内閣官房日本経済再生総合事務局参事官、畑野内閣府知的財産戦略推進事務局参事官、炭田総務省大臣官房企画課長、伊吹経済産業省商務情報政策局クリエイティブ産業課長、内藤警察庁刑事局組織犯罪対策企画課長、福嶋外務省広報文化外交戦略課企画官、柿沼復興庁参事官補佐、菅原財務省大臣官房総合政策課課長補佐、平田文部科学省生涯学習政策局参事官付参事官補佐、村山農林水産省農村振興局都市農村交流課課長補佐、番匠環境省自然環境整備担当参事官室参事官補佐

4. 議題

- ・「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014」（骨子）について
- ・意見交換

5. 議事概要

観光庁より資料に沿って「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2014」（骨子）について説明。

委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降も見据えた対応が必要。
- 外国人旅行者が求めている情報は、料理・シェフ・レストラン・温泉・観光スポットに関するもの。これらを外国人に発信することが重要であり、NHK国際放送を活用すれば良い。
- 海外の放送枠を利用したプロモーションが重要。
- 映像の力に訴えて海外へ発信していくことが大切。
- 修学旅行の学生を呼び込んで、母国に情報発信してもらうことも有効。
- 日本人は信頼されており、自信をもって、良いところを1つ1つ丁寧に発信していくべき。
- 日本文化の発信に取り組んでいる人との連携が重要。
- 外国人のニーズを掴んで、外国人目線で取り組むべき。
- 量と質の両面で取り組んでいくことが必要。
- インバウンドを伸ばすためにも、アウトバウンドが重要。
- 日中韓の協力が大切。
- 長期滞在対応ができるシステムを作っていくことが必要。
- 2000万人を目指すためには、地方空港の活用が必要。LCCの就航の促進や情報発信が大切。
- 外国人の旅行パターンが変化している。LCCの受入を拡大することが重要。
- 世界に通用する魅力ある観光地域づくりと、受入環境整備が重要。
- 地域を広域的なエリア・ブロックで売り出すことが有効。
- 「見る」、「食べる」だけでなく、参加型・体験型の観光の充実が重要。
- 地域は、際だった食など、自らの目玉をはっきりさせた方が良い。
- 参加・体験・学び等により、長期滞在を地方に呼び込むことが重要。
- 本年3月、観光庁が作成した多言語ガイドラインは大変意義のあるもの。
- ホームページよりも詳しい説明ができる多言語の観光ガイドも重要。
- 近年Wi-Fi環境の整備が急速に進んでいることを評価したい。
- 免税店制度の拡充、免税店の展開も大変ありがたい。外国人旅行者に使いやすい制度にして頂けると幸い。
- 日本人の人間性や日本の安全性も観光資源の一つ。

以 上